

服用される前に必ずこの文書をお読みください。また、薬とともに大切に保存してください。



鎮痛薬
解熱薬

ヘテグロパウダー

【この薬の特徴】 本剤は大正時代より製造販売をしている家庭用常備薬です。
頭痛・肩こり・生理痛による痛みや発熱に優れた効果を発揮するアスピリン、
アセトアミノフェン、カフェインを配合した服用しやすい鎮痛解熱薬です。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。）

- 次の人は服用しないこと。
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - 15歳未満の小児
 - 出産予定日12週以内の妊婦
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。（眠気等があらわれることがある。）
- 服用前後は飲酒しないこと。 5. 長期連用しないこと。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 授乳中人
 - 高齢者
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人：心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関 係 部 位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血
精神神経系	めまい
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中の痛み、過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、 のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティー ブンス・ジョンソン症候群）、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範 囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱） が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化 する。

裏面へ続きます

症 状 の 名 称	症 状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
間質性肺炎	<u>階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。</u>
腎障害	<u>発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。</u>

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

【成分と働き】 1日量（3包 2.3g）中

成 名	分 量	成 分 の 働 き
アスピリン	900mg	中枢性の鎮痛解熱作用に加え、末梢に作用して症状を鎮めるとともに抗炎症作用をあらわします。
アセトアミノフェン	600mg	痛みや熱の中枢に作用し、鎮痛解熱作用をあらわします。
無水カフェイン	200mg	痛みを抑える成分の働きを助け、頭痛を和らげます。
プロモバレリル尿素	200mg	鎮静作用により、鎮痛効果を高めます。

添加物として乾燥水酸化アルミゲル、乳糖水和物、バレイショデンプンを含有する。

【効能・効果】

1. 頭痛、歯痛、抜歯後の疼痛、咽喉痛、耳痛、関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛、肩こり痛、打撲痛、骨折痛、ねんざ痛、月経痛（生理痛）、外傷痛の鎮痛
2. 発熱・悪寒時の解熱

【用法・用量】

1. 大人（15歳以上）1回1包、1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。水またはお湯と一緒に服用すること。服用間隔は4時間以上おいてください。
2. 15歳未満の小児は服用しないこと。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

【お客様相談窓口】平坂製薬株式会社

TEL 095-822-2861（土、日、祝日を除く9時から17時まで）

TEL 0120-123-728（フリーダイヤル2012.11以降）

製造販売元 平坂製薬株式会社 長崎市金屋町9番23号 〒850-0037
ホームページ <http://www.hirasaka.co.jp/>

副作用被害救済制度の問い合わせ先
（独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
TEL 0120-149-931（フリーダイヤル）

平坂製薬
モバイルサイト
QRコードを
読み取ってアクセス

